



世田谷区立砧中学校 校長室だより  
令和4年10月24日  
第39号  
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」		
◎ 集団生活における責任感と自主性を養う		
◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う		
◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
社会性の学び	知的学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

## 10年後という視点④

東京都教育委員 東京大学大学院教育学研究科 北村友人教授の話から

### 1 「独立心や充実感の育成」

- ① 日本の教育が世界に誇れる点
  - ◎ 学力の高さ
  - ◎ 協調性・集団生活を大切にする
  - ◎ 勉強する姿勢を早くから身につける
- ② 今後、健全な成長を促す上で必須の要素
  - ◎ 子供の生活への満足度の向上
  - ◎ 社会スキルやチャレンジ精神の旺盛
- ③ そのために・・・  
「独立心や充実感の育成」を重視した教育観への移行を・・・

### 2 国連児童基金（ユニセフ）

『Report Card 16（レポートカード16）－子どもたちに影響する世界：先進国のある子どもの幸福度を形作るものは何か』（2020年9月3日）

- ① 日本の子供の「身体的健康」（子供の死亡率、肥満の子供の割合等）は先進38か国中1位
- ② 日本の子供の「精神的幸福度」（生活満足度が高い子供の割合、自殺率等）は37位
- ③ ウェルビーイングの観点から課題が大きい

### 3 これからの学び

「学習：秘められた宝」（ユネスコ・Futures of Learning 21世紀教育国際委員会報告、1996年）

- ◎ 知ることを学ぶ（Learning to know）
- ◎ 為すことを学ぶ（Learning to do）
- ◎ 共に生きることを学ぶ（Learning to live together）
- ◎ 人間として生きることを学ぶ（Learning to be）



これら4つに加えて

- ◎ 自分自身と社会を変容することを学ぶ（Learning to Transform Oneself and Society）  
⇒ 「静態的（static）な学び」から「動態的（dynamic）な学び」へ



日本の中学生に「幸福を感じる人間関係」と「学ぶ主体性」を育てること

\* これからの10年間の課題でしょう